

〈報道関係者各位〉

2024年7月19日  
医療法人横浜博萌会

## 神奈川県で初となる『突発性難聴センター』を開設 年間600例以上の治療と向き合う現場が、3台目の高気圧酸素装置を導入

医療法人横浜博萌会 西横浜国際総合病院(神奈川県横浜市戸塚区汲沢町56、理事長:三瓶建二)は、2024年7月29日(月)、神奈川県内で初となる『西横浜国際総合病院 突発性難聴センター』を開設します。

当院ではこれまで、2台の高気圧酸素治療装置が稼働し、高気圧酸素療法を中心に年間600例以上の突発性難聴治療を行ってきました。この度、3台目の高気圧酸素装置の新規導入に伴い、さらなる診療体制強化として、同センターを開設することとしました。

### 突発性難聴とは

突発性難聴とは、ある日突然片方の耳の聞こえが悪くなり、耳鳴りやめまいなどを伴う疾患です。内耳のウイルス感染や循環障害などが原因と考えられていますが、明らかな原因は解明されておらず、睡眠不足や過労、心身のストレスなども関係するといわれています。突発性難聴は放置すると高度の難聴などの後遺症が残ることがあるため、早期に治療を開始することが重要です。

### 高気圧酸素療法とは

高気圧酸素療法は、高気圧酸素治療装置に入り、高い気圧で100%の濃度の酸素を吸入することで体内に大量の酸素を取り込む治療方法です。内耳の奥にあるコルチ器に十分な酸素を送り込むことで、症状の改善が期待できます。

当院では1993年から高気圧酸素療法による突発性難聴の治療に取り組んでおり、主に中等度・重度の高気圧酸素療法を必要とする突発性難聴患者に対し治療を行っています。



突発性難聴の治療法	
軽度	内耳の炎症を抑える副腎皮質ステロイド薬等、内服薬による治療
中等度	ステロイド療法と高気圧酸素療法の2者併用療法
重度	2者併用療法に鼓室内ステロイド療法を追加した3者併用療法

### 【コメント】センター長 河野敏朗(西横浜国際総合病院 耳鼻咽喉科部長)

突発性難聴の患者数増加に伴い、当院の受け入れ態勢を整えるべく、この度、高気圧酸素治療装置を新たに1台新規に増設することとなりました。今後は、より適切に早期治療が可能となります。これからも患者さん一人ひとりにより良い治療方法を探求し、「西横浜国際総合病院で治療して良かった」と言ってもらえるよう努力してまいります。

〈西横浜国際総合病院 突発性難聴治療について〉

<https://www.nishiyokohama.or.jp/department/otolaryngology/hearing/>

### 医療法人横浜博萌会について

医療法人横浜博萌会は、セコム医療システム株式会社の提携医療機関として、西横浜国際総合病院を中心に、訪問看護ステーションにしよこはま、にしよこ整形外科クリニック、にしよこ在宅クリニック、介護サービス事業所西横サービスセンター等を展開しています。安心・安全の医療・介護を提供することを理念に掲げ、「生命と人権の尊重」「良質な医療、介護の提供」「地域医療、介護への幅広い貢献」に努めるとともに、予防・急性期医療から回復期・在宅医療の分野までを網羅し、信頼のおける医療グループを目指しています。

### 取材に関するお問い合わせ

西横浜国際総合病院 広報・マーケティング室

Tel. 045-871-8855 Fax. 045-862-0673